

びとう和広後援会ニュース

2011.7.10

第 29 号

発行責任者
小倉義彦

安心と元気の三田めざして 頑張ります！



本会議場にて
3/10 (木)

三田市制初
議員定数を
変更した瞬間

後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。新年度にあたり、びとう和広後援会も新体制となり、皆様の声を活かす組織として一層努力して参ります。よろしくお願ひいたします。

今年になって本当にいろいろなことが起こり、このニュース発行が遅れてしまいました。申し訳ありません。

3月11日発生した東日本大震災は大津波を伴い、北陸沿岸に壊滅的な被害を与え、さらに福島原子力発電所にも大被害を与え、エネルギー供給や放射能問題を引き起こしています。国政は大混乱の中、早急の復興が望まれるところですが、ねじれ国会の中、後手に回る与党に、政争に持ち込もうとする野党。国民のための政策を一刻も早く進めてほしい、そう願うこのごろです。

さて、県議会選挙では、民主党逆風の中、三田市に大きな貢献してきた、そして今後も貢献が期待できる芝野県議が落選となりました。関係者のひとりとして、皆様にご支援を感謝するとともに、申し訳ない気持ちで一杯です。

三田市においては、4月より三田駅北口からのバス路線運行、お子様の医療費助成制度拡充、市民病院の医師61名までの充実、看護師も4月より院内保育を開設などで増員が実現し、7月より300床全て運用となるなど、一層安心・元気に向けたまちづくりが推進中です。

市議会では、三月議会において、議会自らの判断で議員定数2減(24⇒22)を、現状維持の共産党を除く全会派の賛成により実現することができました。併せて4年ごとに見直しをする、との決議も全会一致で可決しました。市民団体がさらに2議席削減を求め5359名の署名を集め直接請求していますが、近隣や同規模の議会を見る限り、十分な削減だと考えています。むしろ、議会改革や議会広報など、議会の本分を果たして行きたいと考えています。

市議会副議長として、議会運営を支えるとともに、議会改革委員長・議会広報委員長として、議員定数削減の実現や広報紙のリニューアル・広報の拡充など、積極的に議会改革と開かれた議会に努めています。

後援会では、4月19日後援会総会を開催し、7年間会長の長谷川満敏氏のご勇退を受け、小倉義彦氏に会長をお願いすることとなりました。後援会活動と併せましてよろしくお願ひいたします。

これからも、皆様の声をお聞きし、市民サービスの向上、安心安全・活気活力のある三田に向け、精一杯頑張ってお参ります。皆様の一層の力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



三田市議会議員

びとう かずひろ
和広



市街化調整区域問題

今回のニュースでは、三田市存続にかかる「市街化調整区域」問題をまとめてみました。

市街化調整区域とは

急成長の三田市は乱開発の問題も抱え、2000年区域区分(*1)を指定し、その時点の用途以外の使用を規制しました。乱開発は止まったけれど、従来の成長も止まりました。

指定から5年の経過期間を終え、さらに5年が経過しました。市街化区域(*2)と市街化調整区域(*3)それぞれに問題・課題が見えてきました。

下にびとうの一般質問と答弁、そして私の考えを記述します。

(*1)区域区分:

「無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域に区分する制度」のことです。

市街地として積極的に整備する区域(市街化区域)と、市街化を抑制する区域(市街化調整区域)に区分し、限られた都市整備財源を集中的に投資し市街地を計画的に整備・改善する一方、開発行為を抑制し自然環境の保全を行うことを目的としています。なお、区域区分は、都市発展の動向、人口・産業等の見通しを踏まえて定めています。

(*2)市街化区域:

「都市計画区域内ですでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図る区域」のことです。

(*3)市街化調整区域:

「市街化を抑制すべき区域」のことで、開発行為は原則として禁止されています。なお、市街化区域には用途地域が必ず指定されています。

右の図の濃い所が、ニュータウンと旧市街地です。それ以外が市街化調整区域です。



都市計画図

【問1】市の問題認識はどうか

市街化調整区域指定から10年経過し、諸課題が見られる。第3次総合計画の目標人口(11万5千人)はほぼ達成するが、その一方で、人口格差・少子化・高齢化が進み、ニュータウン、既成市街地、市街化調整区域のそれぞれに課題がある。

【答】少子高齢化でも地域で対応

今後の急激な高齢化に対し、持続的発展を目指し、若い世代の転入と定着を図り、子育ての充実、新たな雇用の創出などを積極的に進めている。

市街化調整区域は豊かな田園・農村景観などが維持され、農業中心の地域が多く、若者の流出などで、高齢化が顕著だが、無秩序な開発では三田の誇りである豊かな自然環境の維持はできないと考える。

地域の方が自らの地域の課題や将来像を共有し、地域づくりに取り組み、諸制度を活用し、地域として進めていく必要がある。市街化調整区域内の枠組みでも、住民がまちづくりに参加し、各地域に応じた持続可能なまちづくりは可能と考える。

【問2】小規模化する学校の問題

少子化が進むと学校の複合学級化や統廃合の可能性がある。小規模化が進むと、生徒の希望する部活動ができないことや子どもたちの社会性を育みにくい等の課題がある。

【答】全市的に学校のあり方を検討

近年の全国的な少子化の流れの中で、本市では、平成21⇒22年度に小

学生397名、中学生222名の児童生徒数が減少した。児童生徒数の減少が予想される中で、学校園の小規模化は教師の目が行き届き、きめ細やかな指導ができるという利点がある一方、教育活動への影響などさまざまな課題がある。子どもたちのより良い育ちという観点から全市の見地で学校のあり方を検討する。

【問3】第4次総合計画での考え

平成24年度からの10年を見た第4次総合計画をどう策定するのか。

【答】持続可能なまちづくりを推進

住宅販売が停滞し、ニュータウンにまだ未分譲地があり、空家も増えてきた。市内調整区域に、現在でも建築可能な暫定措置7団地で約130戸、旧住宅地造成事業の開発4団地で約60戸などが残る。また、現行法でも農家分家住宅などで建築可能である。

次期総合計画でも、調整区域活性化のため、都市計画制度の活用を検討する。調整区域でも、相野地区では地域で考えたまちづくりを市が支援する形で、人口減少を食い止める。

空家や空き店舗の問題は、平成20年度の住宅・土地統計調査で、賃貸用及び売却用の住宅の空き戸数は2960戸と推計、空家率は6.8%で全国平均7.7%、兵庫県7.9%よりも低い。今後、空家は増加傾向だが、不動産の仲介、斡旋は民間が行うため、市が関わることに問題があり、ストック活用の観点から、空家対策を検討する。持続可能なまちづくりの推進が、これからの三田には重要である。

【び】持続可能のために何が必要か

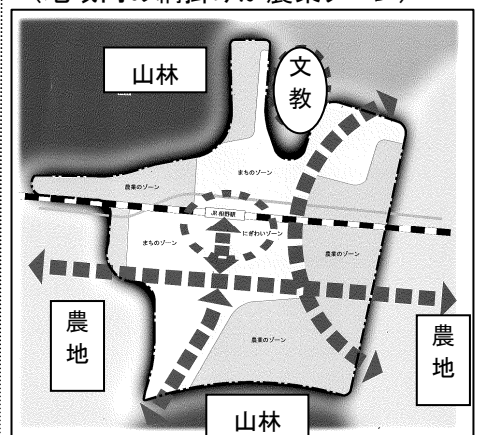
確かに、相野地区では駅周辺開発と農地整備と併せたまちづくりを考えて、「人と自然に育まれた”あいのさと”づくり」として推進中で、平成20年3月に集落地区計画(第一次案)を策定しました。今から農地や民地の確定や駅舎をはじめ駅周辺の開発形態などハードルは続きます。10年単位の時間がかかると聞いています。各地域の課題はもう待たなし、今こそ政策が必要と考えています。

また、この事例は、駅周辺の開発と田圃整備が折り合った県下でも数例という条件が難しいものです。三田北部の公共交通機関がない地域には、なかなか展開が難しいのが実態です。

さらに、この推進の中心人物こそ、芝野県議だったのです。県議が県とのパイプとして活躍頂いていたからこそまでの進展だったのですが、県議を失った今、これからのスピードが鈍らないように私たちは注視しておかなければならないと、気を引き締めているところです。

相野駅周辺のまちづくり構想

(地域内の網掛けが農業ゾーン)



びとう活動レポート

市議会副議長として、予想以上に忙しい日々を過ごしております。

3月11日の東日本大震災では、想定外のマグニチュード 9.0 と大津波そして原発騒動・・・ガレキ・電力不足・放射能汚染・・・未だに解決の糸口が見えません。市議会としてどんな支援ができるのか、募金活動はその一つですが、ボランティアや市職員のように現地に出向く人々を支援することも可能だと思ひ、一つ一つに対応を進めています。

その間、3月議会、議員定数2減の議決、予算特別委員会、構内市政報告会、県議会選挙、後援会総会、メーデー、まさかの共産党市議飲酒暴行事件→辞任、現役公明党市議逝去、議員定数2減の議決に不服だとさらに2減を求める直接請求、6月議会、直接請求を受けた6月議会でも市長より条例提案を受け新たな特別委員会設置、三田まつり会場変更騒動、鳥羽市との友好都市宣言・・・あつという間の半年でした。

本会議や委員会を開くためには、事前の準備やすり合わせで委員会と同じ時間以上かかることは、あまり目に見えない実態です。

写真は皆様との交流の一コマです。



三田地区メーデー大会のガンバロー
市役所駐車場にて
連合行事に参加・ご挨拶と一緒に活動



小学生バレーボール大会開会式
駒ヶ谷体育館にて
各種バレーボール大会でご挨拶



関連労組球技大会開会式
伊丹グラウンドにて
三菱電機関連労組の球技大会でご挨拶

びとう和広の視点

■ <真の議会の改革とは>

議員定数議論は議会改革の本論ではありません。財政が厳しい中、議会自らが痛みを共に負うための一つの判断にすぎません。この議論を続けても、市政は良くなりません。

私は、議員定数削減を言われる背景には、議会や議員が市民に見えていない従来のあり方に大きな問題がある、と考えています。

今回、私が委員長を務める議会改革委員会から、議員定数議論と別に議会基本条例を議論する新たな特別委員会を立ち上げました。議会基本条例では、見える議会にするために、市民の皆さんに議会報告会や意見交換会を開催していく方法や本会議・各種委員会の進め方などを条例として定めるものです。条例制定にあたり、市民の皆様にもご意見をいただく場が設定されます。ぜひ皆様のご意見・ご要望をお伝えください。

また、私が委員長となりました議会報編集委員会を、もっといろいろな方法で広報を行うべきと、議会広報委員会に機能拡張していただきました。

まず、今ユーザーが急増中の「つぶやき」こと「ツイッター」を議会として立ち上げました。議会や委員会の開催やトピックスを発信します。

次に、議会広報紙の刷新です。その主な内容は以下の通りです。

① 形態の刷新

従来の広告用紙サイズをA4の冊子にし、横書きを中心とすることで、左びらきとしました。市民センターなどに置きやすく、手にとっていただき、読みやすくするためです。

② 愛称「つなぐ」とロゴ作成

市民の方に親しんでいただけるように、愛称とロゴを創りました。

③ 市民との双方向

毎回市民インタビューやアンケートにより、市民の皆様生の声をお聞きし、広報に反映してまいります。

④ 議員の顔が見える

一般質問の顔写真・質問者名・会派名を明記し、採決の結果も実名で表記します。

他にもいろいろな工夫を凝らしていますので、ぜひご一読ください。

さらに情報発信を図るため、ホームページの充実を検討しています。

市政とその審議経過の見える化が議会改革の本丸と思っています。

A4サイズへのリニューアル議会報



議員の顔が見える議会報(一般質問)

市街地以外でも新しい市民を迎えては? 企画

Q 新入居を旧市街地とニュータウンに限定しているために、他の地域(市街地調整区域)では人口減、少子・高齢化が目立っています。学校や地域活動への影響が出ています。

A 地域を市が支援
市街地調整区域においても、地域の皆さんが自ら考えたまちづくりを市が支援することで、持続可能なまちづくりは可能と考えます。三田市の次期総合計画で、三田市がめざす土地利用の方向を改めて示し、地域が活性化できるルールづくりを行います。(市長)

美藤和広議員 (民主党三田)

びとう和広後援会より

後援会では、4月19日後援会総会を開催し、役員の新人事はじめ、昨年度の活動報告、今年度の活動計画が承認されました。

役員人事では、後援会の発足以来7年間に会長の長谷川満敏氏のご定年退職に伴うご勇退を受け、小倉義彦氏に会長をお願いすることとなりました。長谷川満敏氏には、後援会の立ち上げ・組織作りや各種行事・後援会ニュースに至るまで大変お世話になり、本当にありがとうございました。また、新会長の小倉義彦氏は、前三菱電機労働組合三田支部委員長であり、連合兵庫の会長代理でした。選挙や社会情勢に強く、引き締まった後援会を推進いただけると考えています。

地区幹事の交代は、以下の通りです。
三田地区 池上幹事⇒松村新幹事
松が丘地区 富永幹事⇒高橋新幹事
つつじが丘地区 新谷幹事⇒吉本新幹事
退任の皆様、お世話になりました。新役員の皆様、お世話になります。

これからも、皆様の声をお聞きし、市民サービスの向上、安心安全・活気活力のある三田に向け、精一杯頑張ってお参ります。皆様の一層の力強いご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

後援会定期総会開催



4/19

組合事務所にて

お知らせ

有菱会（三菱電機三田従業員会）
恒例のサマーフェスティバルは、
今年も秋（10/15）に開催！

長谷川会長 退任のご挨拶

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。『びとう和広』の初陣以来7年間、皆様のお支えで後援会活動を進めることができました。皆様のご理解とご協力に、心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は三田市の全体と将来を思い、財政はじめ多くの課題に取り組み、皆様とともに、安心・安全で元気なまちづくりのための政策を進め、現在7年目も、市議会副議長に着任し、議会運営の中心として、その責任を果たしています。議会改革活動も精力的に進め、議員定数削減も市議会の中心で定数2減を実現し、社会情勢に応じた議会・開かれた議会を推進しております。まだまだ未熟ではございますが、精一杯頑張っております。

今回の総会で退任となりますが、『びとう和広』に対しましては、倍旧のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

びとう和広後援会会長：
長谷川 満敏



小倉新会長 ご挨拶

後援会会員の皆様方には、日頃より大変力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難う御座います。このたびの総会におきまして、長きに渡りご活躍頂きました前会長「長谷川満敏」氏の後任として、後援会会長を承認を頂きました小倉です。よろしくお願い申し上げます。

来年9月には、三田市議会議員選挙が施行されます。後援会として、出来る限り後援会の皆様にお出合いし、より多くの皆様のお声をお聞きし、後援会の拡大を進めてまいり所存で御座います。

何卒、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

びとう和広後援会
新会長：
小倉 義彦



【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730

<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp

<ホームページ> <http://www.bitou-kazuhiro.com>